

国営かんがい排水事業「北総中央地区」の完成にむけての意見書

北総中央地区は、千葉県北部に広がる北総台地にあつて、八街市ほか6市にまたがる3,267ヘクタールの地域であり、首都圏に近接した農産物の供給基地として県下でも有数の畑作を主体とした農業地帯であります。

これまでは、農業用水として主に地下水や台地からの侵出水を利用しており、天水のみに依存している地域もあるなど、不安定な農業経営を余儀なくされております。

北総台地で昭和40年代までに実施されたかんがい排水事業は、地下水を水源にしておりましたが、現在では本地域のほぼ全域で千葉県及び千葉市の「環境保全条例」により地下水の採取が規制されており、地下水に代わる水源の確保が喫緊の課題となっております。

このため本事業により、利根川河口堰及び霞ヶ浦開発に水源を求めた北総東部用水から分水し地区内に導配水する施設を新設し、関連事業と併せて末端用水路を整備することにより、安定的な用水補給と地下水からの水源転換を行い、農業用水の安定供給と農業経営の安定化を図るものです。さらに、農業用水の安定供給と併せ地区内の農業用水が従来から有している地域用水機能（防火用水）の維持・増進も図るものです。

本事業は、総事業費504億円で国営事業として昭和63年度に着手して以来、平成25年度を工期に計画的に進められてきており、平成21年度までに76.7パーセントの事業進捗が図られ、残事業費約117億円を残すのみとなっております。

本地区では、平成18年度に計画を大幅に変更し、事業の推進に努めて参りました。

しかしながら、本地区の平成22年度予算は僅か4億8千万円であり、昨年度に比べると、20億2千万円削減されております。

このため、既存地下水ポンプが機能不全に陥った地区への平成22年度予定工事のほとんどを、来年度以降に見送らざるを得ない状況となっております。

このたびの予算配分に対して、受益者をはじめとして本事業の関係者は強い懸念と不安が増大しております。本事業が所期の目的を達成するため一日も早く事業が完了できますよう、適切な予算配分の確保を強く要望いたします。

また、平成22年3月に閣議決定された食料・農業・農村基本計画では食糧自給率50%の目標を掲げておりますが、農畜産物生産の基となる農業用水の確保なくして達成は困難であります。

「北総中央地区」が予定工期内に完了いたしますよう、特段の配慮を下記のとおり強く要望いたします。

記

1. 平成25年度事業完成にむけた国営かんがい排水事業「北総中央地区」の適切な予算配分の確保

2. 国民の生命・財産を守り、食糧自給率50%を目標とする農林水産省所管のかんがい排水事業をはじめとする農業農村整備事業費枠の大幅な拡大

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成22年9月22日

千葉県東金市議会議長 松 戸 進

衆議院議長

参議院議長

あて

内閣総理大臣

財務大臣

農林水産大臣

国家戦略担当大臣

内閣官房長官